

# カメラ

カメラをご利用になる前に .....	210
静止画を撮影する..... <静止画撮影>	215
動画を撮影する..... <動画撮影>	217
撮影時の設定を変える .....	218
カメラの設定を変える .....	225
撮影後すぐに静止画または動画を送る .....	<メール送信> 226
バーコードリーダーを利用する .....	<バーコードリーダー> 226
文字を読み取る.....	<文字読み取り(OCR)> 228
名刺リーダーを利用する .....	<名刺リーダー> 230
ルーペとして利用する .....	<カメラルーペ> 231
オリジナルのデコメ®ピクチャを作成する....	<ショットデコ> 232

## 著作権・肖像権について

お客様がFOMA端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。



カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

## カメラをご利用になる前に

### カメラをお使いになる時のご注意

- レンズ部に指紋や油脂などが付くとピントが合わなくなります。また、画像がぼやけたり、強い光源からすじを引くことなどがあります。撮影前に、柔らかい布で拭いてください。
- 電池残量が少ないときは撮影できません。充電中でも、電池残量が少ないと画像が暗くなったり、画像が乱れることがあります。充電中は撮影しないでください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られています。常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影したり、保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラのレンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源をじかに撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CCDの性能を損なうときがありますので、ご注意ください。
- 静止画を連続撮影したり、動画を長時間撮影することによりFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- AFモードを切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- カメラのレンズ前面にメカシャッター／NDフィルタを搭載しています。
  - カメラ使用時に動作音が聞こえる場合がありますが異常ではありません。
  - カメラを使用していない状態でレンズ前面が閉じている場合がありますが、異常ではありません。

- 撮影時にFOMA端末が動くこと、画像がぶれる原因となります。なるべく動かないようにしっかりと固定して撮影してください。静止画撮影時は高感度撮影機能、動画撮影時は手ぶれ補正撮影機能を使ってください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがつかないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、FOMA端末に表示される画像の動きが遅くなる場合があります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生する場合があります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整することにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できる場合があります。

### カメラを使用中の動作について

- 撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに、動画はデータBOXのi モーションの[カメラ]フォルダに保存されます。また、microSDカード(対応P.345)に保存することもできます。
- 静止画撮影、動画撮影、名刺リーダー、カメラルーペ、ショットデコを起動すると、ピクチャーライトが点灯します。
- 終了するときは各カメラモードの撮影前のファインダーが表示されている状態でFOMA端末を閉じるか、またはを押します。
- 各カメラモードで、撮影前のファインダーが表示されている状態で約2分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了し待受画面に戻ります。未保存のデータがあるとき、サブメニュー一括設定変更画面、読み取り結果画面を表示しているとき、カメラモードは終了しません。

### シャッター音、撮影開始音／停止音、完了音、フォーカスロック音、セルフタイマー音について

- 静止画撮影、動画撮影、名刺リーダー、カメラルーペ、ショットデコのときは、FOMA端末の設定にかかわらず鳴ります。

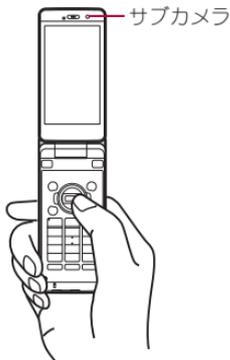
- 文字読み取り、バーコードリーダーのときに鳴る音の音量は、音声電話着信音量の設定に従います。また、次の場合は音が鳴りません。
  - マナーモード設定中
  - 公共モード(ドライブモード)設定中
  - 音声電話着信音量を[サイレント]に設定中
- シャッター音は変更できます(☞P.99)。シャッター音の音量は変更できません。

### 撮影中の着信やアラームの動作について

- 静止画撮影のプレビュー画面や動画の撮影中画面でアラームが動作すると、撮影は中止されます。アラームを終了するとカメラの画面に戻り、撮影したデータを保存できます。
- 静止画撮影のプレビュー画面表示中や静止画保存中に着信があると、着信画面が表示され電話に出ることができます。通話を終了するとカメラの画面に戻り、撮影した静止画を保存できます。
- 動画撮影中や動画撮影確認メニュー画面表示中に着信があると、着信画面が表示され電話に出ることができます。通話を終了すると動画撮影確認メニュー画面が表示されます。表示に従って操作してください。

### ■ 撮影ポジションについて

#### 通常ポジション



#### サイクロイドポジション



- サイクロイドポジションでは、サブカメラでの撮影はできません。通常ポジションでサブカメラに設定しているときに、サイクロイドポジションにすると、メインカメラに切り替わります。通常ポジションに戻すと、サブカメラに切り替わります。

#### 静止画モード

サイクロイドポジションにするとサイクロイドポジション用の撮影サイズに切り替わり、横画面で撮影できます。通常ポジションに戻すと、通常ポジション用のサイズに戻ります。各ポジションの撮影サイズについては☞P.214



#### 動画モード

サイクロイドポジションにすると横画面で撮影できますが、撮影サイズは切り替わりません。



#### ■ タイトルについて

- 撮影(保存)した静止画、動画、名刺画像には、自動的に撮影日時をもとにしたタイトル名が付けられます。例:2009年 1月20日午後 1時5分7秒に撮影→[090120\_130507]
- 連続撮影を行ったとき、末尾に連番([\_01]、[\_02]...)が付きます。
- 名刺画像には、末尾に[\_meishi]が付きます。
- タイトルの編集については☞P.360

## 撮影画面のボタン操作

ボタン	静止画/ カメラ ルーペ	動画	文字 読み取り	バーコード リーダー	名刺 リーダー	ショット デコ
⊙	ズームアップ※ <sup>1</sup>		-	-	-	ズーム アップ※ <sup>1</sup>
⊙	ズームダウン※ <sup>1</sup>		-	-	-	ズーム ダウン※ <sup>1</sup>
Ⓜ	一括設定変更		ピクチャーライト		-	静止画・ア ニメモード切替
Ⓜ	シーン別撮影		-	-	-	-
Ⓜ	パノラマ 撮影/ 通常撮影	共通再生 モード/ 通常撮影	-	スルー/ シャッター モード	-	-
☉	明るさアップ※ <sup>1</sup>					
☉	明るさダウン※ <sup>1</sup>					
ⓧ	本体⇄microSD切替		-	-	-	-
Ⓜ	ピクチャーライト		-	-	-	-
☑	フォーカスロック					
①	カメラモード切替					
②	マイピク チャの フォルダ 一覧画面 表示	i モー ションの フォルダ 一覧画面 表示	読み取り 対象選択	保存デー タ	-	サイズ変 更
③	AFモード		AFモード切替		AFモード	-
④	セルフタイマー		反転モード切替		-	-
⑤	サイズ選択		-	-	-	-
⑥	画質		-	-	-	-

ボタン	静止画/ カメラ ルーペ	動画	文字 読み取り	バーコード リーダー	名刺 リーダー	ショット デコ
⑦	エフェクト	撮影※ <sup>2</sup>	-	-	-	-
⑧	高感度 撮影	手ぶれ 補正	-	-	-	-
⑨	ホワイトバランス		-	-	-	-
⑩	ガイド画面表示 ON/OFF※ <sup>3</sup>		-	-	-	-

※<sup>1</sup> ボタンを押し続けると、連続して調節できます。

※<sup>2</sup> カメラルーペではエフェクト撮影できません。

※<sup>3</sup> ガイド画面を表示して、ボタンの割り当てを確認してから操作できます。

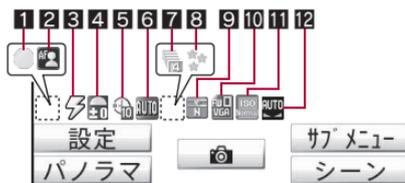
## 撮影画面の見かた

カメラモードでは、ディスプレイに次のマークが表示されます。

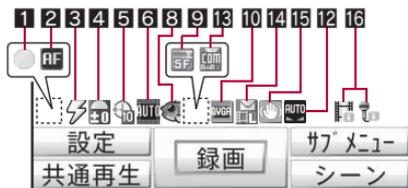
- 全画面モード(※P.225)にするとマークは表示されません。

## ■ ディスプレイ下部に表示されるマーク

静止画撮影画面



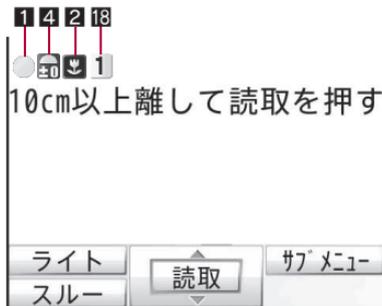
## 動画撮影画面



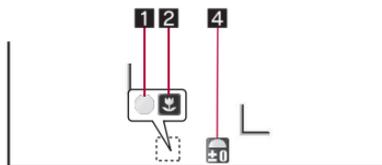
## 文字読み取り画面



## バーコードリーダー画面



## 名刺リーダー画面



## ショットデコ画面



### 1 フォーカスロック表示

● (緑色)	フォーカスロックされたとき
● (赤色)	フォーカスを合わせているとき

### 2 AFモード表示

AF	センターAF/標準	↓	接写
AF	標準(人物優先) (静止画撮影のみ)	MF	マニュアルフォーカス(静止画撮影・動画撮影のみ)

## 3 ピクチャーライト表示

	ON
--	----

## 4 画像の明るさ表示

	暗い ←	標準	→	明るい

## 5 セルフタイマー表示

	2秒		5秒		10秒
--	----	--	----	--	-----

## 6 シーン別撮影表示

## 静止画撮影

	オート		夜景		文字
	人物		風景		逆光
	ポートレート		スポーツ		

## 動画撮影

	オート		風景(ソフト)
	人物		風景(シャープ)

## 7 連続撮影表示

	ON、マニュアル(25枚用)
	ON、マニュアル(9枚用)
	ON、マニュアル(6枚用)
	ON、マニュアル(4枚用)
	ショットデコ(5枚用)
	連写枚数共通(2~25枚)

## 8 エフェクト撮影表示

	モノクロ		残像(動画撮影のみ)
	セピア		波紋
	きらきら		万華鏡(大)
	色えんぴつ		万華鏡(小)
	円ソフトフレーム(静止画撮影のみ)		魚眼

## 9 画質表示

	ECONOMY		FINE(動画撮影のみ)
	NORMAL		SUPER FINE

## 10 撮影サイズ表示

## 静止画撮影(通常ポジション)

	待受:480×854		QCIF:176×144
	VGA:480×640		パノラマ:2560×640
	QVGA:240×320		

## 静止画撮影(サイクロイドポジション)

	8M:3264×2448		UXGA:1600×1200
	3M:2048×1536		待受[横]:854×480
	フルHD:1920×1080		

## 動画撮影

	ワイド:720×400		QCIF:176×144
	VGA:640×480		sQCIF:128×96
	QVGA:320×240		

## 11 高感度撮影表示

 オート	 高感度オート
---	--

## 12 ホワイトバランス表示

 オート	 蛍光灯	 曇り/日陰
 電球	 太陽光	

## 13 共通再生モード表示

 ON
--

## 14 ファイルサイズ制限表示

 メール用(短)(500Kバイト)
 メール用(長)(2Mバイト)

## 15 手ぶれ補正撮影表示

 ON
--

## 16 映像・音声切替表示

 映像+音声
 映像のみ
 音声のみ

## 17 反転モード切替表示

 自動	 通常文字	 反転文字
--	--	--

## 18 QRコード連結番号表示

<b>1</b> ~ <b>16</b>	分割されたデータを読み取るときに、何枚目を読み取っているかを表示
----------------------	----------------------------------

## 19 静止画・アニメモード切替表示

 静止画モード	 アニメモード
--	--

## 静止画撮影

### 静止画を撮影する

- 撮影をするときは、シャッター音が鳴り、ピクチャーライトが1回点滅し、静止画を確認するためのプレビュー画面が表示されます。
- AFモードを[マニュアルフォーカス]以外に設定している場合、フォーカス動作終了後に撮影されます。
- ピントが合わない場合は、フォーカスロックをご使用ください(☞P.224)。

### 1 待受画面で $\text{Ⓞ}$

- カスタムメニューでは:[カメラ]▶[静止画撮影]
- 待受画面表示中にサイクロイドポジションにするだけでカメラを起動できます(☞P.380)。
- ズーム(☞P.218)を利用したり、一括設定変更画面(☞P.224)を表示できます。
- 自分を撮影:サブカメラに切り替える(☞P.220)



### 2 $\ominus$

- 静止画を撮影します。

### 3 $\omin�$

- 静止画を保存します。
- 保存先の変更: $\text{Ⓞ}$
- 静止画を削除して撮影し直す: $\text{Ⓞ}$
- メールで送信(☞P.226): $\text{Ⓞ}$ ▶メールを作成・送信
- 高速赤外線通信で送信(IrSS™機能)(☞P.332): $\text{Ⓞ}$ ▶[はい]
- 位置情報を付加: $\text{Ⓞ}$ ▶[位置情報貼付]▶ $\text{Ⓞ}$ ▶[はい]
  - ・GPS機能で現在地を測位します(☞P.308)。
- 静止画の編集/利用: $\text{Ⓞ}$ 
  - ・画像編集(☞P.332~P.335)、プチエステ(☞P.335)、画面設定(☞P.332)、全画面モード切替(☞P.225)

## サブカメラで撮影したとき

- 正像(見たとおりの向き)で保存: **⊖**
  - ディスプレイには鏡像(左右逆向き)で表示されますが、正像(見たとおりの向き)で保存されます。
- 正像を確認してから保存: **⊕** ▶ [正像を確認] ▶ **⊖**
- 鏡像(左右逆向き)で保存: **⊕** ▶ [鏡像で保存]
  - フレームを設定して撮影(☞P.222)したときは、鏡像で保存することはできません。

## 連続撮影する<連続撮影>

複数の静止画を連続して撮影できます。

- 連続撮影を[ON]に設定したときは、メインカメラでは約0.06秒間隔で、サブカメラでは約0.1秒間隔で静止画を連続して自動的に撮影します。[マニュアル]に設定したときは、自分のシャッター操作で静止画を連続して撮影します。
- 「QVGA:240×320」、「QCIF:176×144」は連続撮影とフレーム撮影を組み合わせて撮影できます。
- 連続撮影できる撮影サイズと撮影最大枚数は次のとおりです。ただし、サブカメラの場合は「QCIF:176×144」のみ連続撮影可能です。

待受[横]:854×480、待受:480×854	4枚
VGA:480×640	6枚
QVGA:240×320	9枚
QCIF:176×144	25枚

## ■ 連続撮影をする

### 1 静止画撮影画面で **⊕** ▶ [撮影メニュー] ▶ [連続撮影]

▶ 設定を選ぶ ▶ **⊖**

### 2 **⊖**

- 1枚目が撮影され、以降自動的に撮影されます。最後の撮影時にピクチャーライトが1回点滅します。
- マニュアル撮影のときは、連続撮影最大枚数まで **⊖** を押します。

- 全枚数を撮影または **⊕** を押して連続撮影を中止すると、撮影画像一覧画面が表示されます。

## 3 保存する

- すべて保存/削除: **⊕** ▶ [全件保存]/[全件削除]
- 1件選んで保存/削除: 静止画を選ぶ ▶ **⊕** ▶ [1件保存]/[1件削除]
- メールで送信(☞P.226): 静止画を選ぶ ▶ **✉** ▶ メールを作成・送信
- 位置情報を付加: **⊕** ▶ [位置情報貼付] ▶ **⊖** ▶ [はい]
  - GPS機能で現在地を測位します(☞P.308)。

- 自動保存モード(☞P.225)が[ON]のときは、自動的に全件保存されます。
- 連続撮影を設定しているときは、ズーム調整できません。
- 連続撮影を設定しているときに、撮影サイズを変更したり、エフェクト撮影を設定したり、サブカメラに切り替えると、連続撮影は解除されます。
- 連続撮影中に着信やアラームが動作すると、撮影中の静止画は保持され、連続撮影は中止されます。ただし、着信やアラーム動作のタイミングによっては、撮影中の静止画が破棄され、静止画撮影画面に戻ることもあります。
- 連続撮影中にFOMA端末を閉じたり、**⊖** を押すと、撮影を中止してカメラモードを終了します。また、ポジションを変えると、撮影を中止して静止画撮影画面に戻ります。

## パノラマ撮影する<パノラマ>

FOMA端末を横方向に動かして、連続して画像を取り込むことにより、1枚のパノラマ写真は自動的に作成できます。

- パノラマ写真は、横2560×縦640のサイズで保存されます。
- 画質は[SUPER FINE]、AFモードは[センターAF]になり、変更できません。
- サブカメラ撮影やサイクロイドポジションのときはパノラマ撮影できません。

## 1 静止画撮影画面で

- もう一度を押すと、通常の静止画撮影画面に戻ります。

## 2

- 撮影開始音が鳴り、パノラマ撮影が開始されます。パノラマ撮影したい範囲でFOMA端末を左右どちらか一方に動かしてください(往復はしないでください)。撮影開始時点で中央に表示された十字表示が上下に大きくぶれないようにします。
- FOMA端末を移動させる速度は、画面左下の移動速度表示が[**適**]となるようにしてください。
- 撮影がほぼ完了すると[OK]が表示されます。[OK]が表示されたあともFOMA端末を動かすと合成画像が更新されますが、[**適**]が表示されるとそれ以上更新されません。このときは、操作3に進んでください。



パノラマ撮影画面

### 1 十字表示

撮影開始場所を原点として画面中央に表示されます。カメラを動かしたときに原点からのずれが確認できます。

### 2 移動速度表示

FOMA端末の移動速度によって表示します。

<b>SLOW</b>	遅すぎるとき
<b>GOOD</b>	適切なき
<b>FAST</b>	速すぎるとき



パノラマ撮影中画面

## 3 撮影を止めるときは、

- 撮影停止音が鳴り、取り込んだ画像が合成され、プレビュー画面が表示されます。

## 4

- 画像を保存します。

- パノラマ撮影中は、ズーム調整や明るさ調整はできません。
- パノラマ撮影中に着信やアラームが動作すると、画像の取り込みは中止され、それまでに取り込んだ画像は破棄されます。
- パノラマ撮影中に約2分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了し待受画面に戻ります。それまでに取り込んだ画像は破棄されます。
- [**適**]が表示されると画質が劣化することがあります。特に、近距離で撮影するときは表示されないようにご注意ください。
- [OK]が表示されてからも撮影を続けたとき、撮り始めと撮り終わりの部分が破棄されることがあります。

## 動画撮影

### 動画を撮影する

- 撮影開始音が鳴り、撮影が開始されます。ただし、撮影されるまでに時間がかかることがあります。撮影中はピクチャーライトが点灯します(映像・音声切替が[音声のみ]のときは点滅します)。
- 撮影中に撮影残時間表示が00:00:00になったとき(撮影中にファイルサイズが制限に達したときや、microSDカードの空き容量がなくなったとき)は、自動的に撮影が停止します。撮影した動画は保存/メール作成/再生/削除ができます。
- ピントが合わない場合は、フォーカスロックをご使用ください(☞P.224)。

## 1 カスタムメニューで[カメラ]▶[動画撮影]

- ズーム(☞P.218)を利用したり、一括設定変更画面(☞P.224)を表示できます。
- 自分を撮影:サブカメラに切り替える(☞P.220)



## 2 ㊦

- 中央の被写体に自動的にピントを合わせて撮影します。

## 3 撮影を止めるときは、㊦

- 撮影停止音が鳴り、動画撮影確認メニュー画面が表示されます。

## 4 [保存]

- 動画を保存します。
- メールで送信(☞P.226): [メール作成] ▶ メールを作成・送信
- 動画の再生: [再生]
- 動画を取り消す: [取消] ▶ [はい]

- 撮影残時間表示は目安であり、撮影対象により、撮影開始前の残時間表示よりも長く撮影できるときや、00:00:00より前に撮影が自動的に停止する場合があります。

- 撮影中にFOMA端末を閉じたり、ポジションを変えた場合は、次のようになります。

- 撮影開始から約1秒以上のとき: 撮影停止し、動画撮影確認メニュー画面が表示される

- 撮影開始から約1秒未満でFOMA端末を閉じたとき: 撮影停止し、カメラモードを終了する

- 撮影開始から約1秒未満でポジションを変えたとき: 撮影停止し、動画撮影画面に戻る

ただし、映像・音声切替が[音声のみ]のときは、録音が続きます。

- 動画撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音されるときがありますので、ご注意ください。

## 撮影時の設定を変える

- 撮影サイズによっては設定できないものもあります。

## カメラモードを切り替える&lt;カメラモード切替&gt;

## 1 撮影画面で㊦▶ [カメラモード切替]

## 2 カメラモードを選ぶ▶ ㊦

## 明るさを調整する&lt;明るさ調整&gt;

明るさを5段階で調整できます。

## 1 撮影画面で㊦

## デジタルズームを利用する&lt;ズーム調整&gt;

## 1 静止画/動画/ショットデコ撮影画面で㊦

- 光TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)で指を左右にスライドさせても操作できます。ただし、静止画撮影の場合、AFモードを[標準(人物優先)]に設定しているときは㊦でズームバーを表示させてから操作してください。

## 静止画モード



## 動画モード



- ズームできる範囲(倍率)は撮影サイズによって異なります。

	撮影サイズ	最大倍率(ズームの段階)	
		メインカメラ	サブカメラ
静止画撮影	8M:3264×2448	等倍 (-)	-
	3M:2048×1536	約1.4倍 (5段階)	-
	フルHD:1920×1080	約1.4倍 (5段階)	-
	UXGA:1600×1200	約2.9倍 (6段階)	-
	待受[横]:854×480	約7.2倍 (13段階)	-
	待受:480×854	約5.6倍 (11段階)	-
	VGA:480×640	約7.2倍 (13段階)	-
	QVGA:240×320	約12.7倍 (16段階)	等倍 (-)
	QCIF:176×144	約20.4倍 (18段階)	約4.0倍 (3段階)
	パノラマ:2560×640	約2.8倍 (10段階)	-

	撮影サイズ	最大倍率(ズームの段階)	
		メインカメラ	サブカメラ
動画撮影	ワイド:720×400	約3.6倍 (12段階)	-
	VGA:640×480	約5.1倍 (14段階)	-
	QVGA:320×240	約10.2倍 (17段階) <sup>*</sup>	等倍 (-)
	QCIF:176×144	約10.2倍 (17段階)	約2.0倍 (2段階)
	sQCIF:128×96	約10.2倍 (17段階)	約2.0倍 (2段階)

<sup>\*</sup> 手ぶれ補正が[OFF]のとき

- AFモードを[スポットAF]に設定しているときは、デジタルズームを利用できません。

### ピクチャーライトを利用する<ピクチャーライト>

#### 1 静止画/動画撮影画面で $\odot$ ▶[撮影メニュー]▶[ピクチャーライト]▶[ON]

- ピクチャーライトは、暗い場所での撮影を補助するものであり、通常のカメラのストロボのような光量はありませんので、ご注意ください。
- 静止画モード、動画モードの場合は、ピクチャーライトを[OFF]に設定しても、点灯(微灯)します。
- 蛍光灯の下などで白い部分が多い印刷物などを接写する場合、撮影角度とピクチャーライトの[ON]/[OFF]により、FOMA端末の色や影が映りこむ場合がありますが異常ではありません。

## メインカメラとサブカメラを切り替える<カメラ切替>

### 1 静止画／動画撮影画面で $\odot$ ▶[カメラ設定]▶[カメラ切替]

- サイクロイドポジションのときは、サブカメラに切り替えできません。
- メインカメラからサブカメラに切り替えた直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。

## 撮影サイズを設定する<サイズ選択>

- 静止画撮影の場合、メインカメラとサブカメラおよび通常ポジションとサイクロイドポジションについてそれぞれ設定できます。
- 動画撮影の場合、メインカメラとサブカメラは同じサイズになります。ただし、通常ポジションの場合、メインカメラを「ワイド:720×400」または「VGA:640×480」に設定してサブカメラに切り替えたときは、「QCIF:176×144」になります。

### 1 静止画／動画撮影画面で $\odot$ ▶[サイズ選択]

- ショットデコのときは:撮影画面で $\odot$ ▶[サイズ変更]

### 2 サイズを選ぶ▶ $\ominus$

## 画質を設定する<画質>

[ECONOMY]→[NORMAL]→[FINE] (動画のみ)→[SUPER FINE]の順に画質がきれいになりますが、データ量が多くなり登録できる枚数、撮影できる時間は少なくなります。

- 静止画撮影の場合、メインカメラとサブカメラおよび通常ポジションとサイクロイドポジションについてそれぞれ設定できます。
- 各画質の撮影枚数、撮影時間の目安についてはP.509

### 1 静止画／動画撮影画面で $\odot$ ▶[撮影メニュー]▶[画質]

### 2 画質を選ぶ▶ $\ominus$

## ファイルサイズ制限を設定する<ファイルサイズ制限>

動画を撮影する前に、保存するファイルサイズを制限できます。

- i モーションメールで送信するときは、[メール用(短)]、[メール用(長)]に設定してください。メール添付可能なサイズで撮影できます。[メール用(短)]を選ぶとファイルサイズを約500Kバイトに制限します。[メール用(長)]を選ぶとファイルサイズを約2Mバイトに制限します。

### 1 動画撮影画面で $\odot$ ▶[撮影メニュー]▶[ファイルサイズ制限]

### 2 ファイルサイズを選ぶ▶ $\ominus$

- 撮影サイズによって設定できるファイルサイズが異なります。

- [制限なし]に設定した場合、保存先がFOMA端末(本体)のときは約5Mバイトまで、保存先がmicroSDカードのときは制限なしで撮影します。撮影時間は最長約1時間になります(映像・音声切替が[音声のみ]のときを除く)。また、撮影直後にメール送信を実行すると、先頭から約2Mバイト以内のデータを切り出して送信します。
- 撮影画像によって、ファイルサイズは変わります。
- 共通再生モードを設定しているときは、[メール用(短)]に設定され、変更できません。

## セルフタイマーを使って撮影する<セルフタイマー>

### 1 静止画／動画撮影画面で $\odot$ ▶[撮影メニュー]▶[セルフタイマー]

### 2 セルフタイマー時間を選ぶ▶ $\ominus$

### 3 $\ominus$

- セルフタイマー音が鳴り、セルフタイマーが動作します。設定した時間が経過すると、シャッター音／撮影開始音が鳴り、自動的に撮影されます。
- 撮影後、中止後もセルフタイマーは解除されません。

- 着信やアラームが動作すると、セルフタイマーは中止され、撮影画面に戻ります。

## AFモードを設定する<AFモード>

被写体に合わせて、AF(オートフォーカス)モードの切り替えができます。

- 静止画撮影のときは、撮影サイズを変更すると[標準(人物優先)]になります。
- サブカメラ撮影のときは、AFモードを設定できません。

センターAF※1	フォーカスが動作し、中央の被写体にピントを合わせます。
標準※2	
標準(人物優先)※1	人物の顔を検出して、顔にピントを合わせます。人物の顔を検出すると、被写体が動いても顔検出枠が顔を追跡してピントを合わせます。複数の顔を検出した場合は、どの顔にピントを合わせるかを指定することができます。
スポットAF※1	ファインダー上でエリアを選んでピントを合わせることができます。
接写	近距離(約10cm)の撮影に適したモードです。
マニュアルフォーカス※3	手動でピントを合わせることができます。

※1 静止画撮影のみ設定できます。

※2 静止画撮影では設定できません。

※3 静止画撮影、動画撮影のみ設定できます。

## 1 静止画/動画撮影画面で $\odot$ ▶[撮影メニュー]▶[AFモード]

- 文字読み取り、バーコードリーダーのとき:撮影画面で $\odot$ ▶[AFモード切替]
- 名刺リーダーのとき:撮影画面で $\odot$ ▶[AFモード]

## 2 AFモードを選ぶ

- ◆ [センターAF]
- ◆ [標準]
- ◆ [標準(人物優先)]
  - 最大5人までの顔を検出できます。複数の顔検出枠が表示されているときは、赤色の顔検出枠にピントが合います。
  - ピントを合わせる顔を指定するには、光TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)で指を左右にスライドさせます。
- ◆ [スポットAF]▶ $\odot$ ▶フォーカスエリアを選ぶ
- ◆ [接写]
- ◆ [マニュアルフォーカス]▶ $\odot$ ▶ピントを調整▶ $\ominus$ 
  - フォーカス調整バーが表示されます。中央のラインが最も青色になるように調整してください。



フォーカス調整バー

- [標準(人物優先)]に設定しているとき、顔の向きや被写体との距離、撮影環境によっては、正しく顔を検出できないことがあります。また、顔以外の被写体や背景を、顔として誤検出することがあります。

## 映像と音声の組み合わせを設定する<映像・音声切替>

動画撮影の種類を[映像+音声]、[映像のみ]、[音声のみ]に設定できます。

## 1 動画撮影画面で $\odot$ ▶[撮影メニュー]▶[映像・音声切替]

## 2 映像と音声の組み合わせを選ぶ▶ $\ominus$

## フレームを重ねて撮影する<フレーム撮影>

撮影する静止画にフレームを設定し、フレーム付きで撮影できます。

- フレーム撮影できる撮影サイズは、「待受[横]:854×480」、「待受:480×854」、「VGA:480×640」、「QVGA:240×320」、「QCIF:176×144」です。
- 撮影サイズが「待受[横]:854×480」、「待受:480×854」、「VGA:480×640」で連続撮影設定時はフレーム撮影できません。
- 撮影サイズとフレームの縦横が異なるときは、フレームが90度回転します。
- サイトなどからダウンロードしたフレームを利用してフレーム撮影できます。

1 静止画撮影画面で ▶ [撮影メニュー] ▶ [フレーム撮影] ▶ [ON]

2 フレームを選ぶ ▶

- フレームの確認: フレームを選ぶ ▶

3

## いろいろな効果を付けて撮影する<エフェクト撮影>

撮影する静止画や動画にエフェクトを設定し、色合いやタッチを変えて撮影できます。

- 静止画撮影サイズが「QVGA:240×320」、「QCIF:176×144」以外のとき、または動画撮影サイズが「ワイド:720×400」、「VGA:640×480」のときは、エフェクト撮影できません。

### エフェクトの種類

OFF	エフェクトを解除する
モノクロ	モノトーンで濃淡を表現
セピア	セピア色で濃淡を表現
きらきら	光輝部をさらに輝かせる効果を表現
色えんぴつ	色つぎの線画で表現

円ソフトフレーム※ <sup>1</sup>	画面の周りにぼかしの効果を付ける
残像※ <sup>2</sup>	動きの残像を表現
波紋	波紋効果を付ける
万華鏡(大)	万華鏡の効果を表現(模様が大きい)
万華鏡(小)	万華鏡の効果を表現(模様が小さい)
魚眼	魚眼レンズでの効果を表現

※1 静止画撮影のみに設定できます。

※2 動画撮影のみに設定できます。

1 静止画/動画撮影画面で ▶ [撮影メニュー] ▶ [エフェクト撮影] ▶ エフェクトの種類を選ぶ ▶

2

- エフェクト撮影を設定しているときに、連続撮影を設定したり、撮影サイズの変更や映像・音声切替を行うと、エフェクト撮影は解除されます。
- 動画撮影時は、エフェクト撮影を設定すると、撮影サイズによって画質が次のように設定され、変更することはできません。
  - 「QVGA:320×240」、「QCIF:176×144」:[SUPER FINE]
  - 「sQCIF:128×96」:[FINE]
- 動画撮影時は、エフェクト撮影を設定すると、手ぶれ補正が自動的に[OFF]になります。このあと、エフェクト撮影を解除すると、エフェクト撮影設定前の手ぶれ補正の設定になります。

## 高感度撮影を行う<高感度撮影>

手ぶれや被写体ぶれを軽減して撮影できます。また、光量の足りない場合でも感度を変更することで明るく、ぶれの少ない写真を撮影できます。

### 1 静止画撮影画面で $\odot$ ▶[カメラ設定]▶[高感度撮影]

### 2 設定を選ぶ▶ $\ominus$

- シーン別撮影/ホワイトバランスが[オート]以外のときや、サブカメラ撮影のときは、高感度撮影できません。

## 手ぶれを補正して撮影する<手ぶれ補正>

- 動画撮影サイズが「ワイド:720×400」,「VGA:640×480」のときは、手ぶれ補正撮影できません。

### 1 動画撮影画面で $\odot$ ▶[カメラ設定]▶[手ぶれ補正]

### 2 設定を選ぶ▶ $\ominus$

- 手ぶれを補正して撮影すると、被写体や周囲の明るさによっては撮影画像にノイズがのったり、暗くなったりすることがあります。が故障ではありません。そのときは、手ぶれ補正を[OFF]にして撮影してください。

## 撮影環境や被写体に応じた設定を行う<シーン別撮影>

自然な色合いやピントで撮影できるよう、撮影環境や被写体に応じた撮影モードを設定できます。

### 1 静止画/動画撮影画面で $\odot$ ▶[撮影メニュー]▶[シーン別撮影]

### 2 シーンを選ぶ▶ $\ominus$

- シーンを選んで $\odot$ を押すと、シーンについての説明が表示されます。

- シーン別撮影を[オート]以外に設定すると、ホワイトバランスが自動的に[オート]になります。
- AFモードを[標準(人物優先)]以外に設定しているときは、[ポートレート]に設定できません。

## 色合いを調節する<ホワイトバランス>

撮影時の光の状況に応じて、色合いを調節して撮影できます。

### 1 静止画/動画撮影画面で $\odot$ ▶[撮影メニュー]▶[ホワイトバランス]

### 2 ホワイトバランスの種類を選ぶ▶ $\ominus$

- ホワイトバランスを[オート]以外に設定すると、シーン別撮影が自動的に[オート]になります。

## 音声のノイズを少なくする<ノイズキャンセラ>

### 1 動画撮影画面で $\odot$ ▶[カメラ設定]▶[ノイズキャンセラ]▶[ON]

- ノイズキャンセラでは、音声を明瞭にするために音声の加工処理をしています。周囲のノイズ状態や話し方により、音声の聞こえ方が変わることがあります。

## 撮影時のバックライトの点灯時間を設定する

### <バックライト点灯時間>

### 1 動画撮影画面で $\odot$ ▶[カメラ設定]▶[バックライト点灯時間]

### 2 設定を選ぶ▶ $\ominus$

- [常にON]に設定したときでも、ファインダー以外の画面ではバックライトの点灯時間は照明時間設定に従います。

## フォーカスロックで撮影する<フォーカスロック>

ピントを合わせた状態でフォーカスをロックして、構図を変えて撮影できます。

- フォーカスがロックされると音が鳴ります(動画撮影を除く)。

### 1 撮影画面で被写体にピントを合わせて

- 状態に応じてフォーカスロック表示マークの色が変わります(☞P.213)。
- フォーカスロックの解除:

### 2 構図を変えて

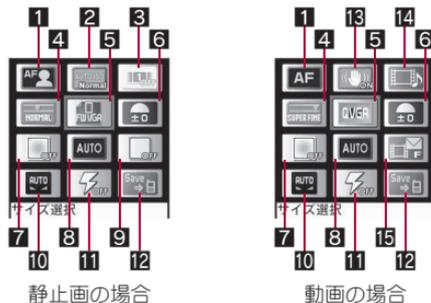
- 被写体との距離は変えないでください。

- 動画撮影時は、撮影中もフォーカスロックをかけることができます。撮影中に被写体との距離が変化してピントが合わなくなったときにご使用ください。ただし、フォーカスロックするときに雑音が入ることがありますのでご注意ください。

## 撮影時の設定を一括変更する<一括設定変更>

撮影時によく使う機能の設定内容を一覧表示したり、一括して変更することができます。

### 1 静止画/動画撮影画面で



- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| 1 AFモード   | 9 フレーム撮影        |
| 2 高感度撮影   | 10 ホワイトバランス     |
| 3 連続撮影    | 11 ピクチャーライト     |
| 4 画質      | 12 本体⇔microSD切替 |
| 5 サイズ選択   | 13 手ぶれ補正        |
| 6 明るさ調整   | 14 映像・音声切替      |
| 7 エフェクト撮影 | 15 ファイルサイズ制限    |
| 8 シーン別撮影  |                 |

- 設定の変更: で項目を選ぶ ▶
- 光TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)を利用することもできます。
- 撮影画面に戻る: ①

## 他のFOMA端末でも再生できるように設定する

### <共通再生モード>

共通再生モードを設定して動画を撮影すると、FOMA端末の機種にかかわらず、再生することができます。

- 撮影サイズは「QCIF: 176 × 144」、画質は[FINE]、ファイルサイズ制限は[メール用(短)](500K/バイト)、手ぶれ補正は[OFF]、映像・音声切替は[映像+音声]、エフェクト撮影は[OFF]になり、変更できません。

### 1 動画撮影画面で $\odot$ ▶ [撮影メニュー] ▶ [共通再生モード] ▶ [ON]

## カメラの設定を変える

- シャッター音の変更は $\mathcal{P}$ P.99

## 画像をディスプレイいっぱいに表示する

### <全画面モード切替>

表示されるマークを消し、静止画をディスプレイいっぱいに表示できます。

- 撮影サイズが「QCIF: 176 × 144」、「パノラマ: 2560 × 640」のときは、全画面モードにできません。

### 1 静止画撮影画面で $\odot$ ▶ [全画面モード切替]

- 解除: 同じ操作を行う

## microSDカードに保存する<本体 $\leftrightarrow$ microSD切替>

撮影した画像をmicroSDカードに保存できます。

### 1 静止画/動画撮影画面で $\odot$ ▶ [本体 $\leftrightarrow$ microSD切替]

- 静止画撮影のときは、撮影後に $\textcircled{i}$ を押して切り替えることもできます。

- microSDカードに保存できる動画の撮影時間はmicroSDカードのメモリにより異なります。映像が含まれる動画のとき、最長約1時間です。

- microSDカードに保存した静止画/動画の確認については $\mathcal{P}$ P.355

- 保存先がmicroSDカードに設定されているとき、静止画は[カメラフォルダxxx](フォルダが複数あるときは「xxx」の数字が最も大きなフォルダ)に、動画は[カメラフォルダ]に保存されます。

- フォルダ内の保存件数が1000件を超えると、新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに静止画/動画が保存されます。パソコンなどで利用したmicroSDカードは、管理情報の更新を行わないと保存できません( $\mathcal{P}$ P.357)。

- 撮影画像をmicroSDカードに保存するときは、DCF1.0準拠(ExifVer.2.2、JPEG準拠)の形式で保存されます。

- ・「DCF」とは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、デジタルカメラなどの画像ファイルなどを、関連機器間で便宜に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- ・「Exif」とは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画用のファイルフォーマットです。

## 自動保存モードを設定する<自動保存モード>

撮影した静止画を自動的に保存するように設定できます。

- 自動保存モードを[ON]に設定すると、撮影直後の画像編集や画面設定などの操作はできなくなります。
- 撮影した静止画は本体 $\leftrightarrow$ microSD切替で設定した保存先に自動的に保存されます。

### 1 静止画撮影画面で $\odot$ ▶ [カメラ設定] ▶ [自動保存モード] ▶ [ON]

## 静止画撮影／動画撮影の設定をお買い上げ時の状態に戻すようにする<カメラ設定保持>

カメラモード終了時に次の設定を記憶し、次回静止画モードや動画モードを同じ状態にして起動します。カメラモード終了時にお買い上げ時の状態に戻すには、設定を記憶させないようにします。

静止画	サイズ選択、画質、本体⇄microSD切替、自動保存モード、高感度撮影、ピクチャーライト ● [サイズ選択]、[画質]はメインカメラとサブカメラおよび通常ポジションとサイクロイドポジションについてそれぞれの設定を保持します。
動画	サイズ選択、画質、ファイルサイズ制限、バックライト点灯時間、本体⇄microSD切替、手ぶれ補正、ノイズキャンセラ、ピクチャーライト

### 1 静止画／動画撮影画面でⓂ▶ [カメラ設定] ▶ [カメラ設定保持] ▶ [OFF]

## 操作ガイドを表示する<操作ガイド>

### 1 静止画／動画撮影画面でⓂ▶ [操作ガイド]

## メール送信

### 撮影後すぐに静止画または動画を送る

静止画または動画撮影後、保存前のプレビュー画面から、撮影した静止画や動画をメールに添付して送信できます。

- 撮影した動画は i モーションメールとして送信します。

#### 1 静止画プレビュー画面でⓂ

- 動画のとき：動画撮影確認メニュー画面で[メール作成]
- 撮影した静止画または動画が自動的に保存され、メール作成画面が表示されます。
- 撮影した動画のファイルサイズが2Mバイトを超えているとき、メールに添付するために切り出すかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選べば、2Mバイト以下になるように先頭から切り出して添付されます。

#### 2 メールを作成・送信

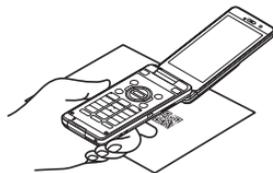
- 静止画撮影時、撮影サイズを「8 M:3264×2448」、画質を [SUPER FINE] に設定している場合、撮影後すぐにメールに添付することはできません。保存後に、メールに添付してください(ⓂP.144)。

## バーコードリーダー

### バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってバーコード(JANコード、QRコード)を読み取ると、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To、ブックマーク登録、電話帳登録、文字表示、i アプリToを利用できます。読み取った文字のコピーや貼り付け、メロディの再生や保存、画像またはトルカの表示や保存を行うこともできます。

- 読み取り結果をmicroSDカードに保存することはできません。



## JANコードとは

- 幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。
- 右のJANコードを読み取ると[4942857119022]と表示されます。
- JAN 8、JAN13を読み取ることができます。



## QRコードとは

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。
- 右のQRコードを読み取ると[株式会社NTTドコモ]と表示されます。



## CODE128とは

- 幅の異なる縦の線(バー)で数字やアルファベットなどを表現しているバーコードです。
- CODE128を読み取るには、対応している i アプリのソフトをダウンロードする必要があります(☞P.293)。

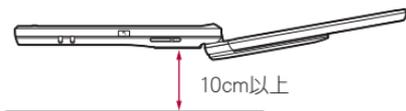
## バーコード(JANコード、QRコード)から文字を読み取って利用する

- バーコード(JANコード、QRコード)から読み取った文字を利用して、i モード接続、フルブラウザ接続、メール作成、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信、SMS作成、i アプリの起動などを行うことができます。
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れないときがあります。

## 1 カスタムメニューで[カメラ]/[LifeKit] ▶ [バーコードリーダー]



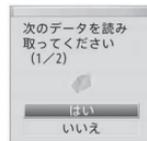
## 2 ディスプレイの中央に読み取るバーコード(JANコード、QRコード)を表示 ▶ ⊙



- バーコード(JANコード、QRコード)の真正面からカメラまでを10cm以上離して、バーコードやFOMA端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。
- 読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。
- スルーモードとシャッターモードを切り替える: ⊙
  - ・スルーモードのときは、ディスプレイに表示されているバーコードを直接読み取ります。シャッターモードのときは、バーコードをいったん撮影してから読み取ります。
- 読み取りの中断: ⊙ / CLR

### 分割されたデータについて

- QRコードには、分割されたデータ(最大16個)を読み取って1つのデータとなるものがあります。分割されたデータを読み取ったときはメッセージが表示されます。( )には残り個数/全連結数が表示されています。[はい]を選ぶと次のQRコードの読み取り画面に進みます。スルーモードのときは、次のQRコードをディスプレイの中央に表示させると、自動的に次のQRコードを読み取ります。シャッターモードのときは、次のQRコードをディスプレイの中央に表示して⊙を押して撮影します。操作をくり返し、すべての分割されたデータを読み取ると読み取り結果が表示されます。



### 3 読み取り結果を利用する

- 読み取った文字や数字に下線が付いているとき:読み取った文字を選ぶ▶⊖
- 読み取った文字の内容に応じた画面が表示されます。
- 読み取った文字をすべてコピー:Ⓜ
- 読み取った文字の一部をコピー:Ⓜ▶[コピー]▶始点を選ぶ▶⊖▶終点を選ぶ▶⊖
- 読み取ったデータの保存:Ⓜ▶[保存]▶保存先を選ぶ▶⊖
- 5件まで保存できます。

### ■ URL入力画面や、サイトを表示中の文字入力画面で バーコードリーダーを起動する

#### 1 文字入力画面でⓂ▶[引用]▶[バーコードリーダー]

### QRコードから画像、トルカやメロディを読み取って 利用する

#### 1 QRコードを読み取る

- 読み取り結果画面に、読み取ったデータの種類の合わせて[画像]/[メロディ]/[トルカ]と表示されます。

#### 2 ⊖▶利用方法を選ぶ▶⊖

- 複数のトルカが含まれている場合に[表示]を選んだときは、先頭のトルカのみ取得します。
- [保存]を選んだときは、画像はデータBOXのマイピクチャの[外部取得データ]フォルダ、メロディはデータBOXのメロディの[外部取得データ]フォルダ、トルカはおサイフケータイメニューの[トルカ]内に保存されます。

### 読み取った文字を電話帳やブックマークに登録する

- 読み取ったメールアドレスや電話番号、URLを電話帳やブックマークに登録できます。

#### 1 読み取り結果画面でⓂ

#### 2 読み取り結果を登録する

- ◆[電話帳登録]▶電話帳に登録
- ◆[Bookmark登録]▶[iモード登録]▶フォルダを選ぶ▶⊖▶[OK]
- ◆[Bookmark登録]▶[フルブラウザ登録]▶[OK]▶フォルダを選ぶ▶⊖

### ■ 保存データを利用するとき

#### 1 読み取り開始画面でⓂ▶[保存データ]

#### 2 保存データを選ぶ▶⊖

### 文字読み取り(OCR)

## 文字を読み取る

紙などに印刷されたURL、メールアドレス、電話番号、英単語をFOMA端末で撮影し、FOMA端末で扱える文字に変換します。

- 読み取れる文字は、次のとおりです。URL、メールアドレス、電話番号、英単語などのカテゴリは、読み取った文字によって自動的に識別されます。漢字やひらがななど、全角の文字は認識できません。

URL	半角英字、半角数字、半角記号[-(ハイフン)]_:/~
メールアドレス	半角英字、半角数字、半角記号[.@(ハイフン)]_:
電話番号	半角数字、半角記号[-(ハイフン)+P#*]
英単語	半角英字、半角数字、半角記号[-(ハイフン)]/?!@+*'( ),.&]

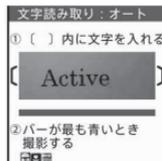
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、文字サイズによっては、正しく読み取れないときがあります。

## 文字を読み取って利用する

カテゴリ(URL、メールアドレス、電話番号、英単語)を自動的に識別して文字を読み取り、iモード接続、フルブラウザ接続、メール作成、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信、SMS作成、辞書検索、電話帳登録、ブックマーク登録などを行うことができます。

### 1 カスタムメニューで[カメラ] ▶ [文字読み取り]

- 読み取り対象のカテゴリを選ぶ: [読み取り対象選択] ▶ カテゴリ'を選ぶ
- 反転文字(黒地に白の文字)を読み取る:  
[反転モード切替] ▶ [反転文字]



### 2 ディスプレイの[ ]枠内の中央に読み取る文字を表示 ▶

- [ ]の端の文字は読み取りにくいときがあります。
- 被写体表示の下にあるバーが最も青色になるように、撮影する印刷物などとの距離を調整してください。
- 一度の操作で読み取る文字数は、60文字以内を目安にしてください。
- 複数の行を撮影したとき、で読み取る行を指定  
・文字の読み取りは、1行単位で行います。

### 3

- 読み取りが完了すると、完了音が鳴り、文字読み取りの候補選択画面に、読み取った文字の内容が表示されます。
- 読み取り結果を修正することができます。
- 読み取りをやり直す: ▶ [はい]

### 4

- 読み取り結果のカテゴリ変更:  
・読み取り結果が電話番号のときは、カテゴリを変更できません。
- 続けて文字を読み取る: ▶ [続き読み取り] ▶ 操作2へ  
・先に読み取った文字につなげて、1つの文として利用できます。256文字まで読み取りできます。

- 読み取りの追加: ▶ [追加読み取り] ▶ 操作2へ  
・最大3回に分けて読み取った文字を、1つのグループとして関連づけます。
- 読み取った文字を辞書で検索: ▶ [辞書検索] ▶ [はい] ▶ 辞書を選ぶ ▶ ▶ 辞書で検索する  
・辞書の検索方法についてはP.377
- 読み取った文字の編集: ▶ [編集]
- 読み取った文字をすべてコピー: ▶ [全コピー]
- 読み取った文字の削除: ▶ [削除] ▶ [はい]
- 読み取りをやり直す: ▶ [はい]

### 5 ▶ 読み取り結果を利用する

- URLを利用してサイトに接続(カテゴリ:URL): [iモード接続]/[フルブラウザ接続]
- メールアドレスを利用してメールを作成(カテゴリ:Mail): [はい] ▶ メールを作成・送信
- 電話番号を利用する(カテゴリ:Tel)  
・音声電話をかける: / ▶ [はい]
- テレビ電話をかける: ▶ [はい]
- プッシュトークを発信: (P) ▶ [はい]
- SMSを作成: ▶ [はい] ▶ SMSを作成・送信
- 着もじを付ける: ▶ メッセージを選ぶ
- 読み取った文字を辞書で検索(カテゴリ:Word): [はい] ▶ 辞書を選ぶ ▶ ▶ 辞書で検索する

- 読み取る文字のカテゴリが、電話番号のとき、( )は-(ハイフン)となります。また、電話帳に登録するときや電話をかけるときには、-(ハイフン)は削除されます。
- 読み取る文字のカテゴリがURLのとき、対象のURLの「http://」が一部省略されていても、読み取り結果に追加されます。

## ■ 読み取った文字を電話帳やブックマークに登録する

読み取った文字は、識別したカテゴリに応じて、電話帳の各項目やブックマークに登録できます。

- 電話帳には識別したカテゴリに応じて、次の項目に登録されます。

[URL]	メモ	[Mail]	メールアドレス
[Tel]	電話番号	[Word]	名前/フリガナ

### 1 文字読み取り結果画面でⓉ

### 2 読み取り結果を登録する

- ◆ [電話帳登録] ▶ 電話帳に登録
- ◆ [Bookmark登録] ▶ [i モード登録] ▶ フォルダを選ぶ ▶ Ⓣ ▶ [OK]
- ◆ [Bookmark登録] ▶ [フルブラウザ登録] ▶ [OK] ▶ フォルダを選ぶ ▶ Ⓣ

#### 名刺リーダー

### 名刺リーダーを利用する

カメラを使って名刺(日本語、英語)を読み取り、FOMA端末(本体)電話帳に新規登録できます。

- 登録できる項目は次のとおりです。
  - 名前            ■ フリガナ(姓のみ)
  - 電話番号/携帯電話番号/FAX番号(最大合計3件)
  - メールアドレス(最大3件)    ■ 会社・学校
  - 所属            ■ 役職            ■ 郵便番号
  - 住所            ■ メモ(登録日、URL、その他の項目)
  - ピクチャーコール設定
- 通常ポジションでは利用できません。

### 1 横表示メニューで[カメラ]/[LifeKit] ▶ [名刺リーダー]



### 2 ディスプレイの中央に名刺を表示 ▶ Ⓣ

- シャッター音が鳴り、ピクチャーライトが1回点滅します。
- 名刺全体がディスプレイに表示されている枠に納まるようにFOMA端末を固定してください。名刺以外のもの、特に文字を含むものがディスプレイ内に入らないようにしてください。
- 名刺をディスプレイに表示する際、縦向き横向きどちらでも読み取ることができますが、斜めにはしないでください。
- できるだけ名刺を大きく表示すると読み取りやすくなりますが、カメラを名刺に近づけすぎるとピントが合いにくくなります。名刺からカメラまでの距離は約10cm離してください。

### 3 Ⓣ ▶ 電話帳に登録

- 撮影した名刺画像が自動的に保存され、電話帳登録画面が表示されます。電話帳登録画面には、読み取った項目が入力されています。
- 電話番号/携帯電話番号/FAX番号が合計4件以上あるときや、メールアドレスが4件以上あるときは、それぞれ上から3件目まで登録されます。電話種別アイコンは[☎]/[📠]/[📧]が、メールアドレス種別アイコンは[📧]が登録されます。
- 撮影した名刺画像はピクチャーコールに設定されます。ただし、発着信時や、リダイヤル/着信履歴の詳細画面では表示されません。

- 名刺によっては読み取れないものや、正しく認識されないものがあります。
- 読み取り対象外の名刺は次のとおりです。
  - 日本語および英語以外の名刺
  - 背景が付いている名刺
  - 手書きまたは手書き風のフォントを使用した名刺
  - 縦書きと横書きが混在した名刺
  - ディスプレイなどに表示された名刺
- 読み取り性能が低下する名刺は次のとおりです。
  - 文字が薄くコントラストの低い名刺
  - 極端に小さい文字を含む名刺
  - 斜体フォントを含む名刺
  - 光沢のある用紙に印刷された名刺
  - ロゴまたはロゴ風書体の文字を含む名刺
  - 文字どうしの間隔が狭く接触している文字を含む名刺
- フリガナは正しい読みかたにならない場合や、自動付与されない場合があります。
- 項目の分類は正しく認識されないことがあります。
- 撮影した名刺画像はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに保存されます。

## カメラルーペ

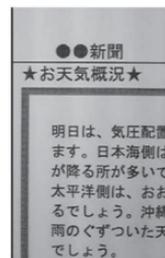
### ルーペとして利用する

カメラを使って新聞の小さい文字などを拡大し、ディスプレイで見ることができます。そのまま静止画撮影することもできます。

- 通常ポジションのときは約2.8倍、サイクロイドポジションのときは約3.6倍に拡大されて表示されます。

#### 1 カスタムメニューで[カメラ] ▶ [カメラルーペ]

- 静止画撮影する:P.215「静止画を撮影する」の操作2へ
- 静止画撮影と同様に設定を変更できます (P.218、P.225)。

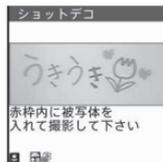


## オリジナルのデコメ<sup>®</sup>ピクチャを作成する

カメラを使って手書きの絵や文字をGIF画像として読み取り、オリジナルのデコメ<sup>®</sup>ピクチャやデコメ<sup>®</sup>絵文字を作成できます。また、読み取った画像を合成して、GIFアニメーションを作成することもできます。

- サイクロイドポジションでは利用できません。

### 1 カスタムメニューで[カメラ] ▶ [ショットデコ]



### 2 ディスプレイの赤枠内に読み取る絵や文字を表示 ▶ (−)

- シャッター音が鳴り、ピクチャーライトが1回点滅します。

### 3 (−)

- 画像の色を変更: (1)~(6)
- 画像の反転状態を変更: (7)
- 画像を元に戻す: (8)
- デコメール<sup>®</sup>を送信 (P.139): (9) ▶ デコメール<sup>®</sup>を作成・送信

## GIFアニメーションを作成する

最大5枚の画像を合成して、GIFアニメーションを作成できます。

### 1 ショットデコ撮影画面で (9) ▶ [静止画・アニメモード切替] ▶ [アニメ]

- (9)を押しても操作できます。
  - ・ (9)を押すたびに、静止画モードとアニメモードが切り替わります。

### 2 ディスプレイの中央に読み取る絵や文字を表示 ▶ (−)

- シャッター音が鳴り、ピクチャーライトが1回点滅します。
- 最大5枚まで撮影します。
- 全枚数を撮影するか、(9)を押して撮影を中止すると、撮影画像一覧画面が表示されます。

### 3 (−)

- 合成後の画像を確認: (9)
- デコメール<sup>®</sup>を送信 (P.139): (9) ▶ デコメール<sup>®</sup>を作成・送信

- 罫線付きのノートなどに書いても、罫線を除いて絵や文字を読み取ります(罫線を読み取る場合もあります)。また、白色の背景も除いて絵や文字のみ読み取ります。
- 読み取った画像は、自動的に撮影日時をもとにしたファイル名が付けられ、データBOXのマイピクチャの[デコメピクチャ]フォルダに保存されます(撮影サイズが「絵文字:20×20」のときは[デコメ絵文字]フォルダに保存されます)。
- 被写体や撮影場所によってノイズが目立つ場合、明るさを調整するときにきれいに撮影できることがあります。

### ■ メール作成中にショットデコを起動する

### 1 本文入力画面の挿入する位置で (9) ▶ [ショットデコ]